

利尻富士町開町140年・町名変更30年 ～ふるさとを魅力あふれる宝の島に～



The 140th Anniversary in Open Town



令和2年

10月号

No.248

広報 

いしり富士

利尻富士町開町140年

14

町名変更30年

30

豊かで心温かく 明るい住み良い 町づくり

令和二年九月三十日(水)に総合交流促進施設りぷらにて「利尻富士町開町百四十年・町名変更三十年記念式典」が挙行されました。

式典では開拓功労者として本町に八十年以上居住された方を対象に百四十年記念開拓功労の受賞、この十年間に叙勲や褒章受章者、高額寄附採納者には百四十年記念感謝状の贈呈を行いました。

また、令和二年度功労者表彰も行い、自治功労、教育功労、消防救難功労、善行表彰を受賞されました。



はるか
ふるさと

悠なる故郷 利尻富士町

利尻島の起源にも由来する本町は、昭和五十五年に開基百年を経過した由緒ある町であります。その歴史を紐解くと天正十八年(一五九〇年)松前慶広が豊臣秀吉より蝦夷島主の待遇を受け蝦夷島の支配権を確立して治めた頃は、未開の地でアイヌの人たちが居住しているにすぎず、寛文九年(一六六九年)松前の藩船が来島してアイヌの人たちと交易し、宝永三年(一七〇六年)能登の人村山伝兵衛が松前藩から宗谷場所の漁場請負人を命ぜられ、本島の開拓に手を染めたのが和人による開発の先駆けとされています。

明治二年(一八六九年)に至り開拓使が設置、蝦夷地は北海道と改称され利尻島は北見国利尻郡と呼ばれるようになり、明治九年(一八七六年)宗谷に区務所が置かれ、翌年鷺泊に利尻扱所の設置が利尻島自治行政の始めとなり、明治十一年(一八七八年)鷺泊・本泊・沓形・鬼脇・石崎・仙法志の六ヶ村が設定され、明治十三年(一八八〇年)には鷺泊に島内で初めて利尻郡各村戸長役場が置かれ、この年が本町開町の年となったのであります。

町長挨拶



利尻富士町長
田村祥三

風薫る錦秋の季節の中、名高き利尻山も麗姿をみせる今日の佳き日、利尻富士町開町四十年、町名変更三十年の記念式典を挙行いたしましたところ、来賓各位並びに町内関係機関の方々、そして開拓功労者をはじめ感謝状並びに令和二年度功労者表彰を受賞されます皆様方を迎え、この式典を執り行うことができ、先ずもって感謝とお礼を申し上げます。

しかしながら、功労受賞者や叙勲・褒章を受章されました多くの皆様方全員にご出席いただき、更には各町行政委員、各種団体の方々にもご臨席を願い、祝賀会も兼ねて盛大に催す所存でありました。が、新型コロナウイルス感染症予防対策のため、規模を大幅に縮小簡素化した式典となりましたことは、町行政を執行する責任者として私も残念であり、本来であれば本式典に出席案内を予定していた方々を含め、町民の皆様には諸般の事情を推察いただき、ご理解くださいますようお願いいたします。

顧みますと、本町の誕生は、鷺泊に利尻島内で初めて利尻郡各村戸長役場が設置されました一八八〇年、明治十三年を

起源としておりますが、利尻島における自治行政が始まって百年を迎えた昭和五十五年には先人の偉業を讃え、本町二世紀へ翔こうと開基百年記念式典を盛大に執り行い、越えて百年にあたる平成二年には過疎化と高齢化が進む中で、活性化に新風を注ぎ、町のイメージを変えて町民が夢と希望を持って誇れる理想郷とするため、元利尻富士町安達町長のもと「我ら悠久の秀峰とともにあり、そして翔かん」を名題として、町名を「東利尻町」から「利尻富士町」に変更して新たな船出をし、そして平成十二年に開町四十年、平成二十二年には、第六代利尻富士町吉田町長のもと、開町三十年記念式典を執り行いました。

その後十年間は、国内外の経済情勢が大きく変貌を続け、少子高齢化や社会保障制度、教育等かつてない変革の中で、町行財政を取り巻く環境は一層厳しさを増す形相となり、特に世界各地で起こっている地球規模の異常気象による自然災害が多くなるとともに、我が国では、地震や豪雨、洪水、暴風、北海道では、胆振東部地震による崖崩れやブラックアウト、利尻富士町においては五十年に一度と言われる大雨による土砂災害が平成二十六年以降七年間で三度も発生しており、全国で被災された皆様方にはお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興を願っております。加えて本年は、新型コロナウイルスが全世界で感染の猛威を振るっており、本町においても感染拡大防止に万全を期しており、一日も早い収束を願っております。

ただ、このような状況の中でも町議会を始め町民皆様の温かいご支援とご協力により、様々な施策を講ずることができたと思っており、誰もが安心して暮らせる地域社会を構築するため、厳しい財政状況の中でも施設介護の要所となる特別養護老人ホーム「秀峰園」改築の福祉施策はもとより、海上交通の要となるバリアフリー対応型フェリーターミナル「みなとオアシス・海の駅おしどまり」の落成、防災無線のクラウド化によるIP端末機器の更新、消防利尻富士支署庁舎の新築、利尻小学校と鬼脇中学校が一体となった小・中併置校が完成しました。また、これからの時代を担う子ども達や若者の支援として、出産祝い金と子育て支援金や通学支援金の給付、医療修学支援制度の拡充、漁業担い手支援住宅や移住定住促進住宅の整備など、利尻富士町の未来を創る地方創生総合戦略を着実に進めてまいりました。

迎えました本年は、本町の歴史に一段と光明を添える開町四十年、町名変更三十年の年となり、今日に至る歴史の重みを感じながら、「活力ある豊かな町づくり」を心に銘じ、この気概と情熱のもと全町民が一丸となって前進する決意を新たにするとともに、本日、記念式典を挙げる大きな意義があるかと存じます。この節目にあたりまして、本町に八十年以上居住され幾多の困難と試練を乗り越えつつ、今日ある発展の基礎を築き上げ、開拓に汗を流していただき表彰されます八十七名の功労者の皆様にご心から敬意と感謝の誠を捧げる次第でございます。私達は今、かつて先人の皆様を経験さ

れたものとは異なつた厳しい状況に直面していることは事実であり、この試練を克服して明日への道を切り拓いて行くことこそ、現代に生きる者の責務であると感じております。「過去の歴史は未来を映す鏡」と申しますが、私達は、先人の不撓不屈のフロンティア精神を想い起し、改めて深甚なる感謝の誠を捧げるとともに、その精神を理想とし、誇りとして確かに受け継ぎ、町民憲章に謳われる「豊かで心温かく明るい住み良い町づくり」を目指して逞しく情熱をもって次代に継承したいと念願しているところであります。どうか、ご臨席の皆様には、これまで以上の温かいご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

また、令和二年度の功労表彰につきましては、町政の振興発展に尽力をいただいている九名の方々と、一団体の皆さんに、永年にわたる活動とご努力に對しまして敬意と感謝を申し上げます。結びに望み、重ねて今日まで町政発展のためにご尽力いただきました歴代町理事者並びに町議会議員各位、そして多くの先達を始め町民の皆様のご熱意とご努力に深く敬意と感謝を表し、本日の式典を契機としまして、悠久の利尻富士のもと恵まれた自然と強調する優しく快適な生活環境づくりと、誰もが安心して暮らせる地域社会の構築と躍動感に満ちた更なる産業振興を目指し、「ふるさとが魅力あふれる宝の島に」を将来像に据え、「悠なる故郷利尻富士町」が未来に向け希望に満ち溢れた理想郷建設に邁進しますことをここに皆様にお約束を申し上げます。式辞といたします。

利尻富士町開拓功労者表彰

石垣美奈子氏



野口 恒子氏



石川美保子氏



戸嶋 トモ氏



高橋 秀昭氏



山本 信雄氏



大野 透氏



工藤 孝一氏



受賞者代表謝辞

菅原 昇氏



本日の、利尻富士町開拓四十年・町名変更三十年記念式典の意義ある年に、私も開拓功労表彰をはじめ、感謝状及び令和二年度功労表彰の受賞の栄に浴しましたことは、誠に身にあまる光栄であります。これも偏に、田村町長をはじめ、町議会の皆さん、地域の方々の支えによるものと存じ、衷心より厚くお礼申し上げます。

本日の受賞を糧として、これからも、利尻富士町のさらなる振興発展に、微力ではありますが努力させていただきます。ことをお誓いし、簡単、粗辞ではありますが受賞者一同に代わりお礼の言葉といたします。

町の沿革

(2016年 町勢要覧より抜粋)

明治

十三年

鴛泊に島内で初めて利尻郡各村戸長役場が置かれた

十九年

宗谷管内で最初の学校「利尻学校」が鬼脇に開校された

鬼脇に漁業組合を、鴛泊には支部が置かれた

大正

九年

鬼脇に電灯が点

十年

鴛泊に電灯が点

十二年

海上に秀麗な姿を誇る利尻富士が北海道三景の地に一位で当選

昭和

二年

乗合自動車島内を初めて運行

十一年

稚内・鴛泊・香深の三角航路始まる

二十三年

ソ連軍用輸送機富士野に不時着

明治末～大正初期 鴛泊港内



令和2年
1,266世帯
2,403人

昭和30年
1,806世帯
11,234人

明治13年
86世帯
746人

昭和30年7月4日 本泊祭典



令和

元年
二年

新元号スタート
利尻富士町開町百四十年・町名変更三十年式典

平成

二年

町名を変更し、利尻富士町となる

十一年

利尻空港ジェット化開港により利尻・新千歳間に小型ジェット機が運航

二十年

利尻漁業協同組合発足

二十三年

映画「北のカナリアたち」のロケ地に認定

三十年

天皇皇后両陛下利尻島ご視察

昭和

三十四年

町政を施き、東利尻町となる

五十五年

開基百年記念式典が行われる

六十一年

浩宮徳仁親王殿下ご来町、利尻山を御登山される

新 特別養護老人ホーム秀峰園

概 要 紹 介

このたび、建設中でありました「利尻富士町立特別養護老人ホーム 秀峰園」が六月二十五日に完成いたしました。

これもひとえに、多くの皆様の格別なるご高配と町議会はじめ町民皆様のご理解とご協力の賜であると深く感謝申し上げます。

また、本年はわが町にとって、開町百四十年、町名変更三十年となる節目の年に、新たな生活様式の施設を多くの皆様方はじめ関係者各位の温かいご支援、ご協力、お力添えを得て、無事に竣工し、落成式を迎えられたことに對しまして、重ねて深く感謝とお礼を申し上げます。

「秀峰園」は、鬼脇地区の「福祉の村」の中核として、本町の開基百年であります昭和五十一年に開園し、四十年もの永きにわたり、これまで多くの介護を必要とする高齢者のお世話をしてまいりました。

今後におきましても、できる限り住み慣れた地域で安心して生活できる環境を継続していくとともに、個性と生活リズムに合わせた「個別ケア」を実現するため、新たにユニット型を採用し秀峰園の理念のもと「一人ひとりの意思や人格を尊重し、心のこもった信頼される施設サービス」を提供してまいります。

この施設が、地域住民に親しまれ、利用される入居者にとって安全で安心して生活できることを願っております。

工事概要

◎構造	鉄筋コンクリート造	3階建		
◎規模	建築面積	1,693.68㎡	延床面積	3,177.56㎡
◎事業費	総事業費	1,953,512千円	調査設計	29,260千円
	建築主体	1,141,580千円	電気設備	215,600千円
	機械設備	300,300千円	解体工事	134,992千円
	外構工事	34,870千円	備品購入	96,910千円

ユニット型とは？

「ユニット」と呼ばれる10名前後の少人数単位で介護をするスタイルとなっており、入居者は一人ひとり個室を利用できます。家庭の延長のような感覚で、施設に入っても環境変化が比較的小さいのが特徴となっております。個室でプライバシーが確保されるほか、感染症の拡大防止効果も期待できます。

また、共有部分のリビングスペースを囲うように居室が配置されており、それを1つのユニットとして、ユニットごとに決まった介護スタッフがケアにあたります。同じスタッフが担当することでスタッフと入居者の相互理解が深まり、入居者の個性や生活リズムを保つことができます。



新 特別養護老人ホーム秀峰園 概略配置図と利用者の声

庁舎内概略配置図



利用者の声

新特別養護老人ホーム秀峰園の改築にあたり、利用者である島田初栄さんに引越し後の変化についてお話を伺いました。



島田 初栄さん (90才)

秀峰園がこのような新しい建物になったのはうれしく思います。役場の皆様や関わってくれた方々にはとても感謝しております。ありがとうございます。落成式の際には利用者代表としてテープカットを頼まれて大変驚きました。もともと一人部屋ではありませんでしたが、新しい部屋になってとても快適に過ごせております。

国において大雨の警戒レベルをわかりやすく伝えるために、5色の配色と呼びかけの内容について公開されております。災害時には町からもこれらを用いてIP告知端末等を利用して情報発信いたします。

警戒レベル	避難情報等	取るべき行動
警戒レベル5 (黒)	災害発生情報	命を守る最善の行動
警戒レベル4 (紫)	避難勧告・避難指示 (緊急)	危険な場所から全員避難
警戒レベル3 (赤)	避難準備・高齢者避難開始	危険な場所から高齢者等は避難
警戒レベル2 (黄)	大雨注意報・洪水注意報	避難行動の確認
警戒レベル1 (白)	早期注意情報	心構えを高める



町道鷺泊市街1号線

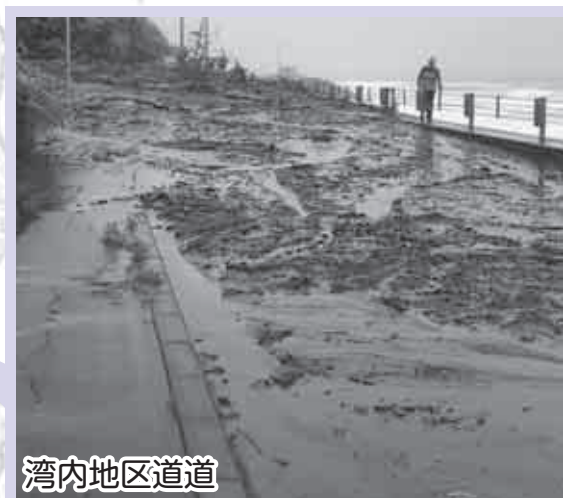
市街地の冠水

鷺泊地区

オチウシナイ川



砂防ダム内及び河床への土石堆積



湾内地区道道

道路への土砂流出

避難する場合に備えて必要なものの確認をしておきましょう。

「非常用持出袋」はありますか？

町では「公助」の取組として必要最小限の備蓄品を配布しております。

不足分は「自助」の取組として各自、非常食等を入れ災害に備えていただきたいと思います。



※写真は、今年の8月に発生した大雨による実際の被害状況です。

防災情報 ~大雨土砂災害について~

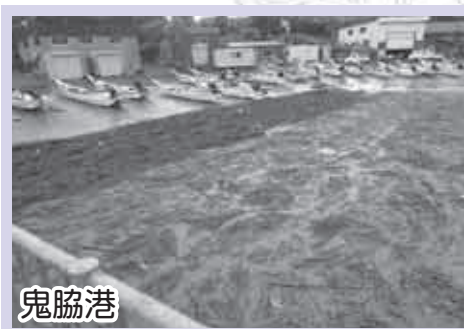
近年、土砂災害の発生の原因となる台風や短期間に激しく降る大雨が増加傾向にあります。利尻富士町においても、平成26年・平成28年に続き「50年に1度」と言われている記録的な大雨が今年の8月にも発生しております。

このような異常気象が常態化してきていることを踏まえて今一度、「災害への備え」について事前に再確認しておきましょう。



町では災害時における避難場所を次のとおり指定しております。お住まいの地区の避難場所を事前にご確認ください。

No.	施設・場所名	住所	対象とする異常な現象の種類
1	大磯自治会館	鴛泊字大磯	崖崩れ、土石流及び地滑り
2	本泊自治会館	鴛泊字本泊	崖崩れ、土石流及び地滑り
3	総合交流促進施設「りぷら」	鴛泊字栄町	崖崩れ、土石流及び地滑り
4	鴛泊小学校	鴛泊字栄町	崖崩れ、土石流及び地滑り
5	鴛泊中学校	鴛泊字栄町	崖崩れ、土石流及び地滑り
6	野塚自治会館	鴛泊字野塚	崖崩れ、土石流及び地滑り
7	練泊自治会館	鬼脇字練泊	崖崩れ、土石流及び地滑り
8	旭浜自治会館	鬼脇字旭浜	崖崩れ、土石流及び地滑り
9	総合交流促進施設「北のしーま」	鬼脇字鬼脇	崖崩れ、土石流及び地滑り
10	利尻小学校・鬼脇中学校	鬼脇字鬼脇	崖崩れ、土石流及び地滑り
11	鬼脇支所	鬼脇字鬼脇	崖崩れ、土石流及び地滑り
12	沼浦自治会館	鬼脇字沼浦	崖崩れ、土石流及び地滑り
13	南浜自治会館	鬼脇字南浜	崖崩れ、土石流及び地滑り
14	野中自治会館	鬼脇字野中	崖崩れ、土石流及び地滑り
15	地域防災・複合交流施設「本泊小学校」	鴛泊字本泊	地震・津波
16	利尻空港駐車場	鴛泊字本泊	地震・津波
17	利尻空港ターミナルビル	鴛泊字本泊	地震・津波



鬼脇港

港へ土砂や流木が漂着

鬼脇地区

利尻富士町では、「防災ハザードマップ」を作成しております。詳しくは町公式ホームページからご覧いただけます。

利尻富士町防災ハザードマップ (<http://www.town.rishirifuji.hokkaido.jp/hazardmap/>)

祝 綿谷タケさん 「名誉会員賞」受賞



(表彰状を手にした綿谷さん)

綿谷タケさん(90)が、全国食生活改善推進員協議会が地域で活躍し、90歳になった会員を表彰する「名誉会員賞」を受賞されました。綿谷さんは、昭和56年から利尻富士町食生活改善協議会に在籍され、20年以上の長きに亘り会長職を務められてきました。綿谷さんは「これまで地域のために活動できたことが嬉しい。」と満面の笑みでおっしゃっていました。利尻島では、初めての名誉会員の受賞、おめでとうございます。

利尻富士町食生活改善推進員



男の料理教室で町民の方に野菜の切り方を教える綿谷さん

食生活改善推進員は食生活の改善により地域住民の健康づくりに貢献できるよういろいろな活動を実施しています。

新規会員募集中!【お問い合わせ】
事務局 0163-82-2320

今知りたい!!

管理栄養士のまめ知識

食欲の秋だからこそ!
知って得する朝ごはんのおはなし

1 朝ごはんが大事なワケ

① 脳のエネルギー源になる

朝ごはんは脳のエネルギー源であるブドウ糖を摂取すると、朝から勉強や仕事に集中できるようになります。

まめ

午前中に大切な試験や試合、仕事があるときは、消化時間を考慮してその3時間前に朝ごはんを摂るようにしましょう。

② 生活リズムを整える

朝日を浴び、朝ごはんを食べると、体内時計がリセットされ、一日の生活リズムが整います。

③ 肥満や高血圧予防

朝ごはんを食べないと、肥満や高血圧などのリスクを高めるとともに、1週間あたりの朝ごはんの回数が少ないと脳出血のリスクが高くなるといわれています。

2 朝ごはんの3つの工夫

① 夜ごはんのおかずを多く作り、朝ごはんに再利用しよう!

② 朝ごはんのレパートリーを決めておこう!

③ 調理の手間がないものをストックしておこう!



3 パパッとクッキング♪

～忙しいときの朝ごはんに☆～

入れるだけ!!
鮭と枝豆の炊き込みご飯

おにぎりにして3歳以降の子供のおやつにも!

～材料～(米2合分)
米……2合
塩鮭……2切れ
枝豆……30粒(約20g)
めんつゆ(3倍濃縮)……大さじ4



1人前(150g):253cal 食塩相当量1.6g

レシピ

入れる



材料を全て炊飯器の釜に入れてから、水を線のところまでいれます。

炊く

混ぜる前に鮭の骨を取り除きましょう。

混ぜる

お好みで、バター、ごま、塩こしょう少々(塩鮭使用しない場合)をかけてもOKです!

完成

まめ 鮭に多く含まれるアスタキサンチンは油と相性がよく、ごまに含まれるセサミンはアスタキサンチンを保護します。

まめ 鮭は秋の旬の食材です。旬の食材は、栄養が多く含まれているのでお得です!

まめ 鮭に多く含まれるビタミンB12は、枝豆に含まれる葉酸と協力して赤血球の生成を助けるので食べ合わせバッチリです!

わがまち
タイムスりっぷ

連載^{⑤2}

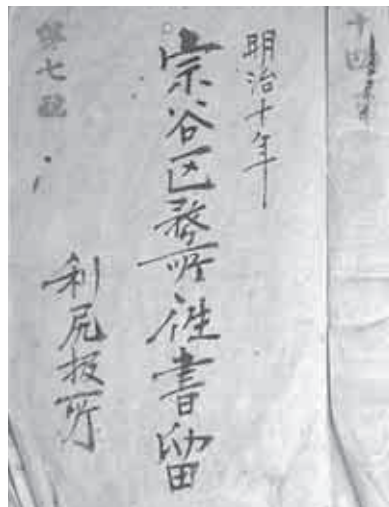
利尻島最古の古文書～宗谷区務所往書留

そうや く む しょお う しょとめ

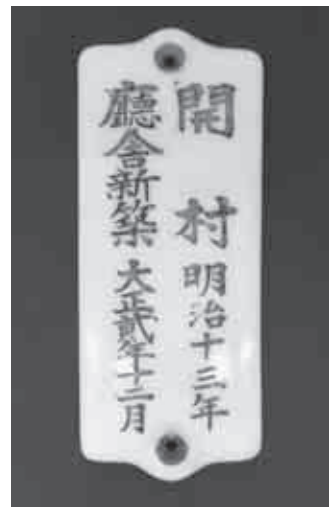
明治時代に入ると、蝦夷地は「北海道」と改称されました。札幌には北海道開発の実務にあたる開拓使が設置され、道内各地に国郡を設定し、利尻島は「北見国利尻郡」となりました。1876（明治9）年、北海道に大小区画が設定されると、利尻郡は第28大区4小区に属し、宗谷区務所が置かれ、翌年鷺泊にその分所となる利尻扱所が置かれました。この文書は、1877（明治10）年に宗谷区務所と利尻扱所との間で取り交わされた公文書で、利尻島の行政のはじまりを伝える文書として、いま現在では最も古いものです。原本は、利尻島郷土資料館に展示されており、1979（昭和54）年、町有形文化財（古文書）に指定されています。

文書の内容は、書類や需用品・備品のやりとりなど、基本的な役場事務に関係したことのほか、出稼ぎ者や漂流者の報告、煎海鼠（干しナマコ）や干鮑（干シアワビ）を集束して増毛郡へ発送したなどが記録されています。当時、総代を務めていたのは河村市蔵という方で、今でも市蔵の墓は本泊の慈教寺のそばにひっそりと建っています。

また、開村が1880（明治13）年であることを示す陶製の札がのこされています。庁舎新築が1913（大正2）年とあるのは、旧鬼脇村役場（現在の郷土資料館）が新築されたことを表わしています。



宗谷区務所往書留



旧鬼脇村役場の陶製札

記事に対するご意見などは、教育委員会 山谷：電話82-1370までお寄せください。

戸籍の窓口

♥ご結婚おめでとうございます♥

月日	氏名	住所	月日	氏名	住所
R 2.7.15	伊藤 雅敏 様 鈴木 茉佑 様	鬼脇1 岩手県	R 2.8.21	安達 一穂 様 成田 彩香 様	栄町2 栄町2

◆お悔やみ申しあげます◆

氏名	月日	年齢	住所	氏名	月日	年齢	住所
梅田 勇 様	R 2.5.6	94歳	栄町1	佐野 秀春 様	R 2.5.19	80歳	鬼脇2
伴 リツ 様	R 2.6.6	93歳	南 浜	谷村 俊朗 様	R 2.6.6	69歳	鬼脇1
秋元ヨシエ 様	R 2.6.7	96歳	鬼脇1	戸嶋トモ子 様	R 2.6.28	92歳	栄町1
藏谷ユリ子 様	R 2.7.8	90歳	富士岬	岡部 恒美 様	R 2.7.10	61歳	栄町2
大関 政義 様	R 2.7.14	87歳	栄町2	坂牛 勇一 様	R 2.7.18	89歳	南 浜
蠣崎 馨 様	R 2.7.20	64歳	栄町1	塩谷 カツ 様	R 2.7.27	85歳	大 磯
菅原 トヨ 様	R 2.7.31	91歳	鬼脇1	北山 政光 様	R 2.8.6	89歳	大 磯
三浦 イミ 様	R 2.8.8	97歳	鬼脇1	吉田 隆 様	R 2.8.11	85歳	本 泊
中座ソト子 様	R 2.8.16	86歳	栄町1	三木タイ子 様	R 2.8.18	89歳	鬼脇1
蠣崎 仁 様	R 2.8.30	58歳	湾 内				

半崎 美子さん

町民限定コンサート開催しました!



令和2年9月27日(日)に利尻富士町開町140年・町名変更30年を記念いたしまして、利尻富士町観光大使である「半崎美子さん」による町民限定コンサートを開催いたしました。コロナ禍ということもあり1部講演、2部講演ともに100名ずつの募集となりました。

コンサートでは①種、②お弁当ばこのうた～あなたへのお手紙～、③稲穂、④母へ、⑤ふるさと利尻島、⑥サクラ～卒業できなかった君へ～、⑦明日を拓こう、⑧明日へ向かう人、と計8曲を歌っていただきました。

その中でも「ふるさと利尻島」は利尻富士町開町140年・町名変更30年に合わせ作詞作曲をしていただきました。毎週水曜日朝7時30分にIP放送で流しておりますので、町民の皆さんにも是非覚えていただき、利尻富士町の歌として親しんでいただきたいと思います。

ふるさと利尻島

作詞作曲／半崎 美子

さいは う ゆめ しま
最果てに浮かぶ夢のような島
かぜ た みさき ほほ そ
風に立つペシ岬が頬を染めるとき
しず ゆ ゆうひ わた とり
沈み行く夕陽を渡る鳥たちの
たび み おく りしり ふ じ せ の
旅を見送るように利尻富士が背を伸ばす
ほし つつ うみ まも の はなかお
星に包まれ海に守られ野の花薫る
いと りしりしま
愛しき利尻島

はまかせ うた たから しま
浜風に歌う宝のような島
はる た ふね の かみ ま
春に発つ船に伸びた紙テープが舞うとき
なみだ にじ あざ いろ
涙で滲んだ鮮やかな色
なごり お りしり ふ じ ゆき のこ
名残を惜しむように利尻富士が雪を残す
もり つつ うみ めく ところ み
森に包まれ海に恵まれ心に満ちる

ふるさと利尻島

ほし つつ うみ まも ところ かえ
星に包まれ海に守られ心は帰る
いと りしりしま
愛しき利尻島
ふるさと利尻島

編集後記

徐々に寒い日が増え、日が暮れるのも早くなり、秋の深まりを感じる時期となってきました。

今回の広報では、利尻富士町開町140年・町名変更30年記念式典の記事を掲載しておりますが、日々急速に変化している時代の中、利尻富士町は次の10年へ向けて、これからも町民のみなさまの安全・安心のため邁進して参ります。

今回の広報が今年最後の発行となりましたが、これから厳しい冬へ向かっていく中、町民のみなさまには体調にご留意いただき、また来年新年号でお会いできることを心待ちにしております。

※「戸籍の窓口」は都合により11ページに掲載されています。

人口のうごき (令和2年9月末現在)

	男	女	計	世帯
鴛泊	816	869	1,685	845
鬼脇	347	372	719	422
合計	1,163	1,241	2,404	1,267